



# 消防119

## 備える、地震・火災に

### 池田町総合防災訓練を行いました

8月30日(日)、池田町総合防災訓練が池田中学校グラウンドにて実施され、地元住民や消防・防災関係者約1,000人以上が参加しました。

東海地震や東南海地震の発生が危惧されるなか、午前7時に震度6強の地震が発生し、家屋の倒壊や火災が発生したとの想定で実施されました。住民による避難訓練、町職員による情報収集訓練や被害状況調査訓練、住民や女性防火クラブによる消火栓や消火器などの初期消火訓練、揖斐建設業協会による災害復旧訓練などに取り組みました。

今年5月に災害相互応援協定を結んだ京都府宇治田原町は災害救援物資搬送訓練を実施し、両町の職員は

災害時の対応についてお互いに確認し合いました。

消防団・大垣消防組合による火災防衛訓練では、消防車13台を使用し、中継送水などを交えた訓練が行われました。

その他にも、日赤奉仕団による非常炊き出し訓練など多数の訓練が行われ、防災意識の向上と不測の事態に備えた訓練となりました。

東海地震や東南海地震はいつ起きてもおかしくないと言われています。岐阜県では「自助実践200万人運動」を展開中です。防災の基本は、「自分の命は自分で守る」です。これを機会に各家庭において災害予防や災害発生時の対応を十分話し合い、災害時に対処できるよう備えましょう。

## 第36回事業所初期消火競技大会の参加募集!!

・日時 11月10日(火)

午後1時30分から4時まで

※予備日 11月11日(水)

・場所 大垣市加賀野4丁目

大垣市総合体育館駐車場

・主催 大垣消防組合

大垣危険物安全協会

大垣市防火協力会

・申込

10月15日(木)までに、消防本部予防課までご連絡ください。関係資料を送ります。

・問い合わせ

大垣消防組合消防本部予防課

☎0584・87・1512



## 大垣消防組合管内の火災情報などが聞ける

救急GO!それ1、2  
消防情報テレホンサービス ☎0180-995-012

## 年齢に応じた地震への備え

巨大地震が発生した時のために、日頃から準備が必要です。

食料などの物資が届き出すのは災害発生から3日目以降といわれています。

目安として最低3日間程度の水や食料品を備蓄しましょう。

備蓄品は、家族構成、居住地域の特性によって必要となるものは異なります。高齢者の場合、入れ歯で硬い物をかめない、非常食の乾パン、ビスケットなどは食べ物が飲み込みにくいことがあり、おかゆやスープを準備しておく、乾パンをスープに浸しておくことで、柔らかくなり栄養と水分補給になります。

乳児のいる家庭では粉ミルクや水分を多めに備蓄しましょう。

備蓄品は、消費期限を定期的にチェックし、必要に応じて入れ換えましょう。

持病薬は説明書や処方記録したお薬手帳と一緒に持ち出しましょう。初めて診る医師でも持病にあった薬が処方できるし、病状を推定できるためです。

非常持出品は、玄関、寝室、物置、車のトランクなど持ち出しやすいところに置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。背負える袋などに入れておけば、避難時に両手が使えて便利です。

## 池田町火災・救急件数

平成27年8月31日現在

区分	27年分		26年分		
	8月分	累計	8月分	累計	
火災件数	0件	2件	1件	4件	
救急件数	出動件数	84件	579件	62件	512件
	搬送人数	82人	552人	61人	500人